

# 令和4年度 後期学校アンケート結果分析

京都市立開晴小中学校

遅くなりましたが、後期学校アンケートの整理が終わりましたので、ご報告いたします。

保護者アンケートにつきましては、昨年度よりオンラインでの回答をお願いしています。回答総数は342件と、全児童生徒数の半分に満たない状況ではありますが、前期アンケート(回答数 327 件)に比べますと若干増加いたしました。ご協力いただきました保護者の皆さまありがとうございました。次年度以降の学校アンケートにも、ぜひご協力をお願いいたします。

アンケートの集計結果につきまして、項目ごとにグラフにして、以下にまとめております。特に、前期との比較において、大きな増減(±6%以上)のあった項目につきましては、最後に【成果・課題】として、考察させていただきました。なお、前期に引き続き「実現度」の低い項目につきましては、今後とも優先的に取組を進めてまいります。

また、自由記述欄につきましても、さまざまなご意見を頂戴いたしました。すべて保護者の皆様の貴重なご意見として受け止めさせていただきます。ただ、頂戴したご意見は多様で、そのまますべてを実現することは出来かねますこと、ご容赦いただきますようお願い申し上げます。アンケートには書き切れなかったご意見等がございましたら、電話や学校メールにてお聞かせくださいませ。

自由記述欄には、教職員へのねぎらいや感謝の言葉もたくさんいただいておりますが、紙面の都合上、割愛させていただきました。お詫びを申し上げるとともに、深く感謝いたします。

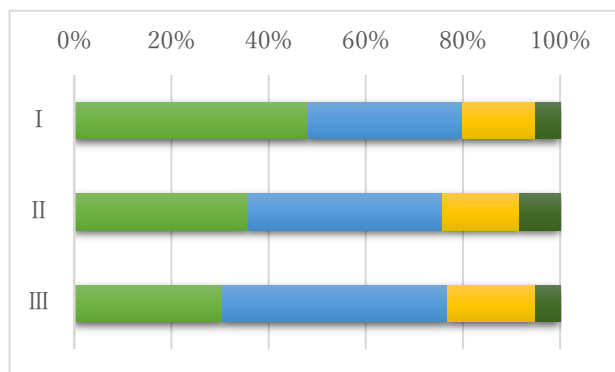
なお、この結果につきましては学校運営協議会理事の皆様にも供覧し、ご意見をいただいたうえで、本年度後期の調査結果として報告いたします。

## グラフの見方

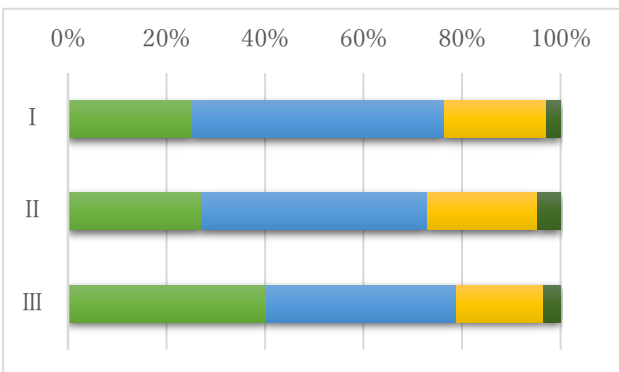
- ・縦軸のⅠ・Ⅱ・ⅢはⅠstステージ(1～4年)、Ⅱndステージ(5～7年)、Ⅲrdステージ(8・9年)
- ・帯の色は左から「できている(黄緑)」、「どちらかといえば、できている(青)」、「どちらかといえば、できていない(黄)」、「できていない(緑)」を表している。読書量の項目については、「月に4冊以上(黄緑)」「月に2～3冊程度(青)」「月に1冊程度(黄)」「まったく読まない(緑)」を表している。

## 令和4年度(後期) 児童・生徒アンケート、保護者アンケートの結果分析

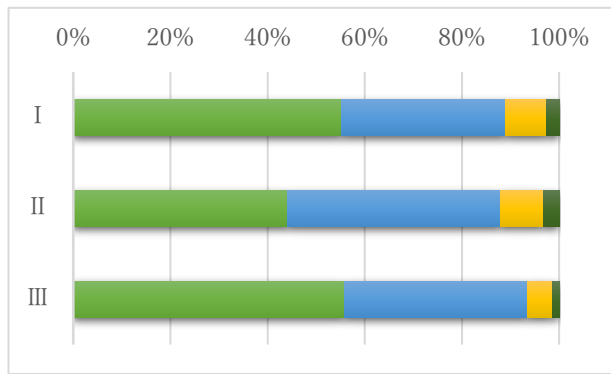
【児童・生徒】自分のめあてや目標をもち学習したり生活したりしている。



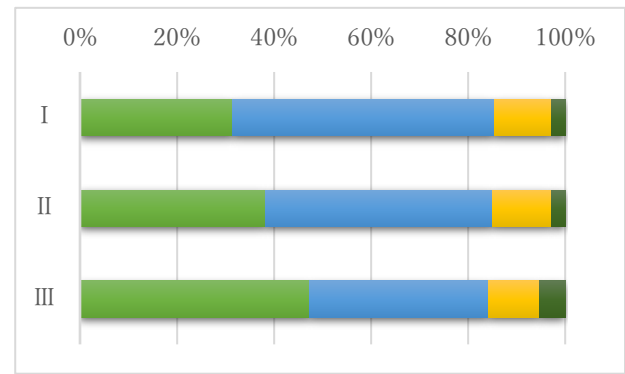
【保護者】子どもはめあてや目標をもち学習したり生活したりしている。



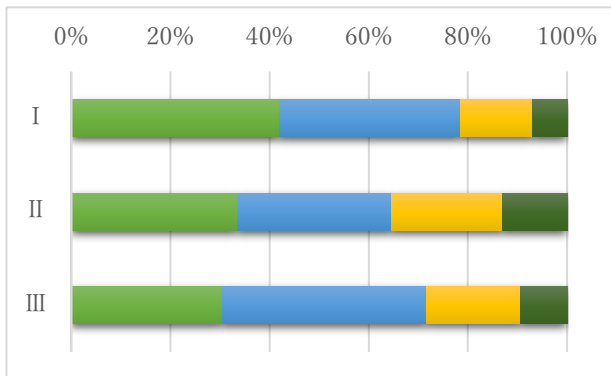
【児童・生徒】授業中、先生や友達の話しをよく聞いている。



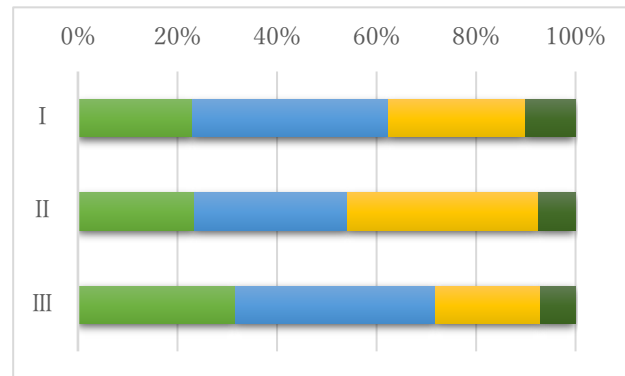
【保護者】子どもは先生や友達の話しをよく聞き、落ち着いて学習している。



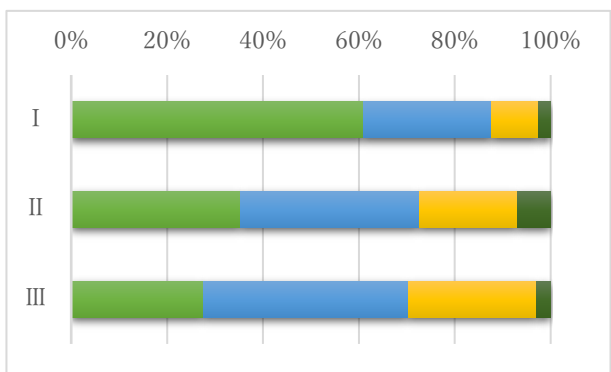
【児童・生徒】おたより帳やスケジュール帳を使って自分で計画を立て、進んで学習している。



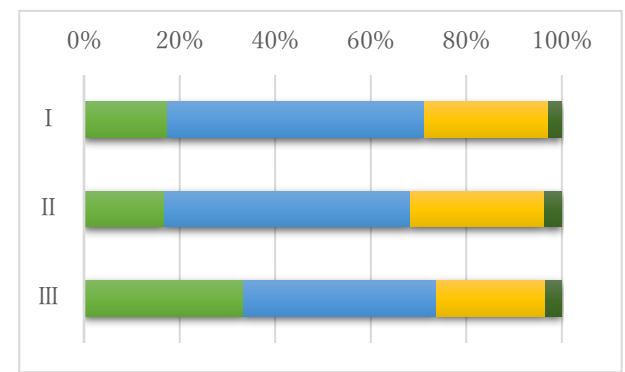
【保護者】子どもはおたより帳やスケジュール帳を使って、計画的・主体的に学習している。



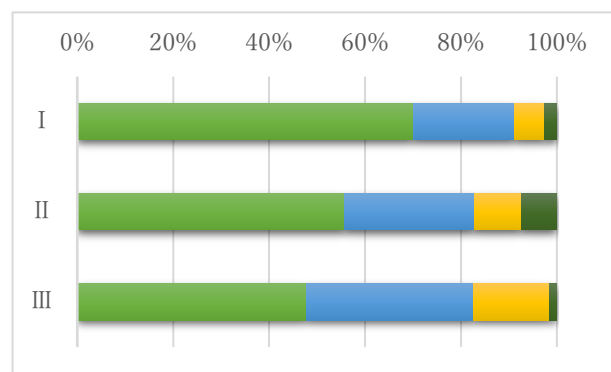
【児童・生徒】苦手なことや難しいことにも挑戦し、あきらめずに取り組んでいる。



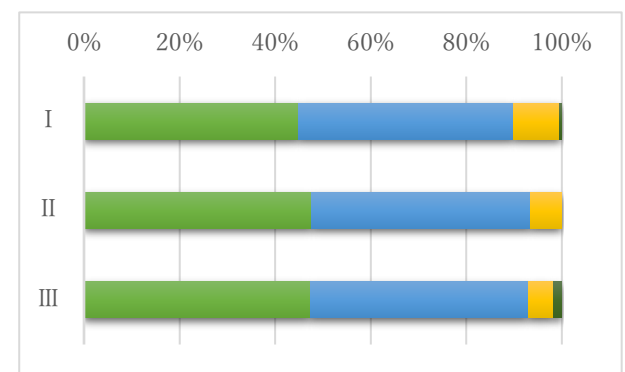
【保護者】子どもは苦手なことや難しいことにも挑戦し、粘り強く取り組もうとしている。



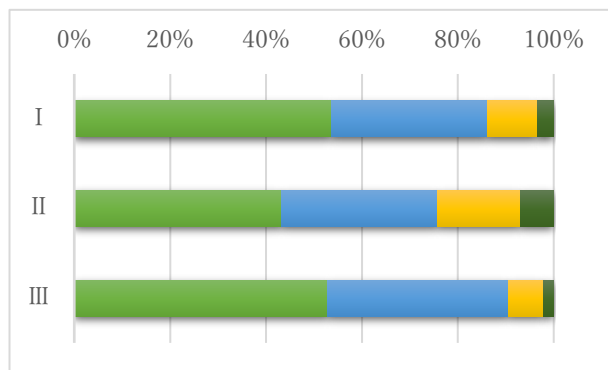
【児童・生徒】自分には得意なことやよいところがある。



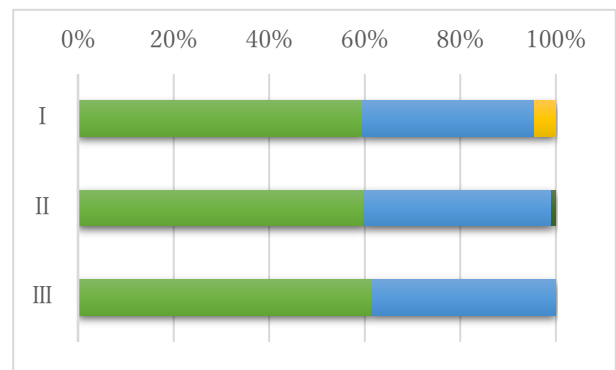
【保護者】子どもは自分の得意なことやよいところを知っている。



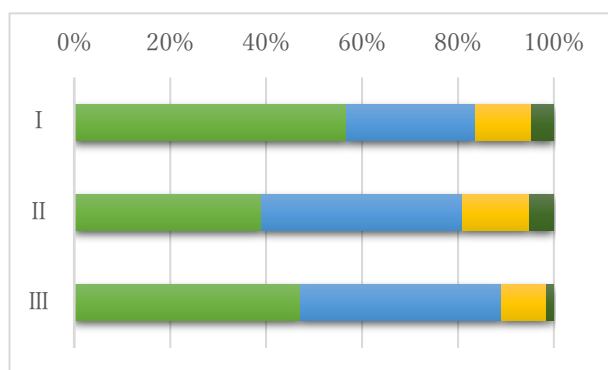
【児童・生徒】人のいやがることをしたり、悪口を言ったりしていない。



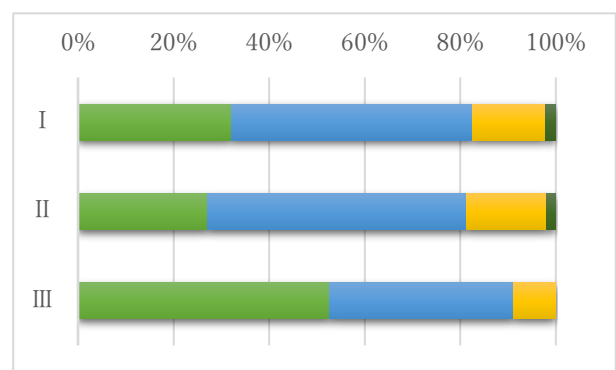
【保護者】子どもは友達を思いやり仲良くしている。



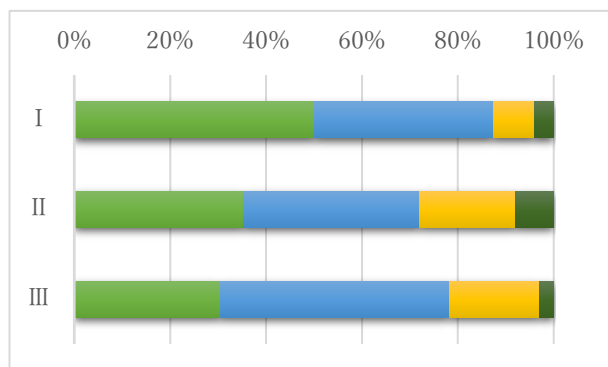
【児童・生徒】自分から進んであいさつをしている。



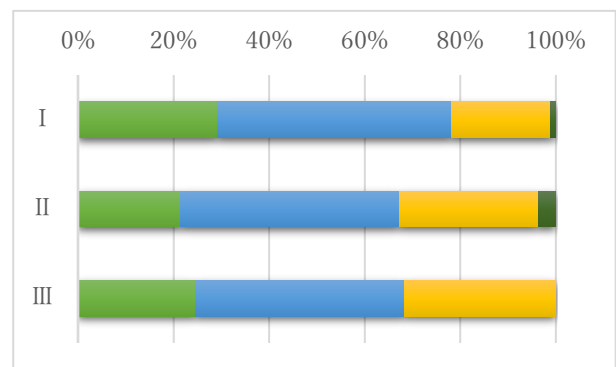
【保護者】子どもは、しっかりとあいさつをしている。



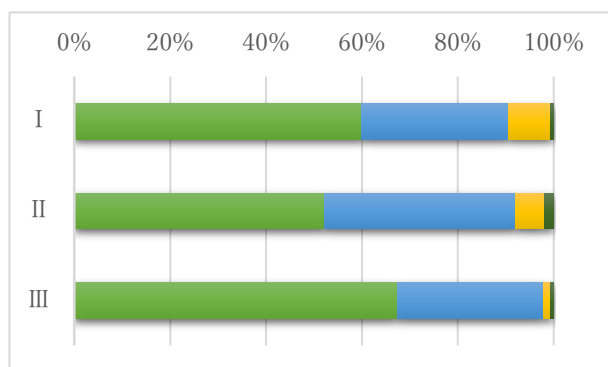
【児童・生徒】そうじやお手伝いなど、進んで人のために役立つことをしている。



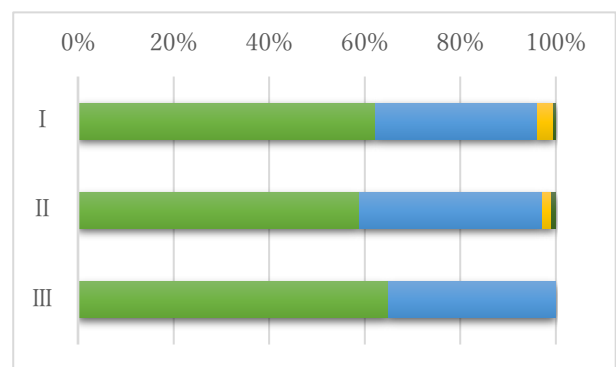
【保護者】子どもは、進んで人の役に立つこと(お手伝いなど)をしている。



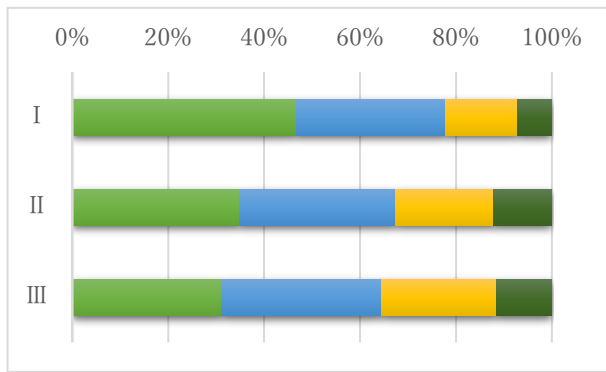
【児童・生徒】学校や社会のルール・マナーを守っている。



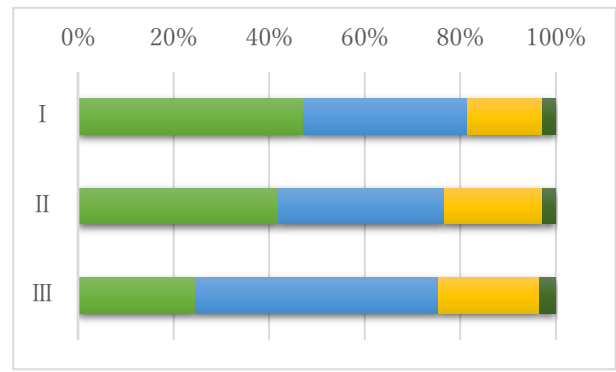
【保護者】子どもは、学校や社会のルール・マナーを守っている。



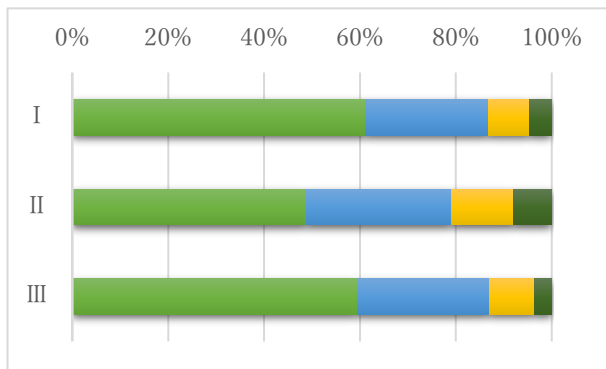
【児童・生徒】早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しく生活している。



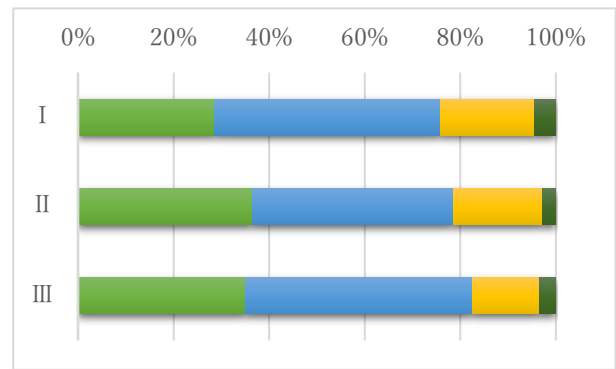
【保護者】子どもには、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん等)が身に付いている。



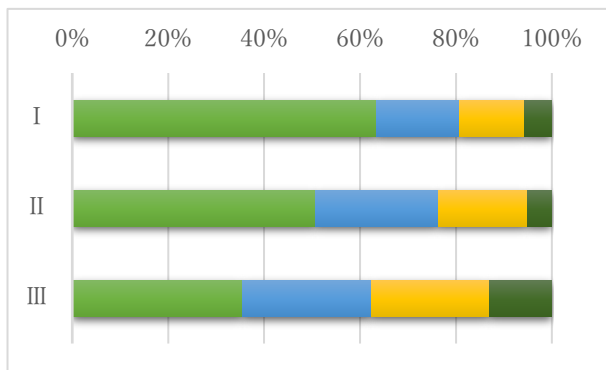
【児童・生徒】できるだけ好き嫌いせず、感謝して給食を食べている。



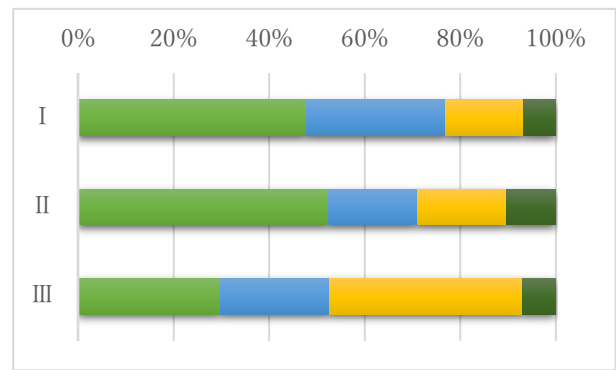
【保護者】子どもは、好き嫌いせずに感謝して食事している。



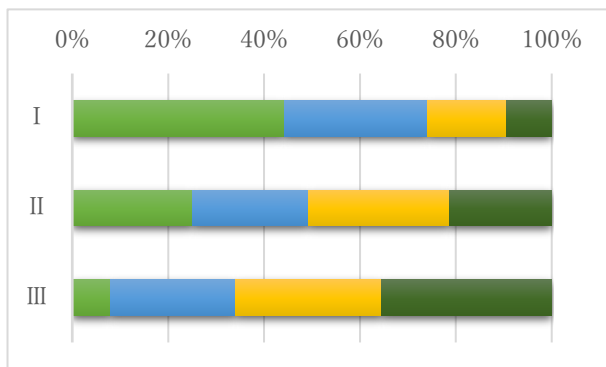
【児童・生徒】外遊び・スポーツなどで、体をよく動かしている。



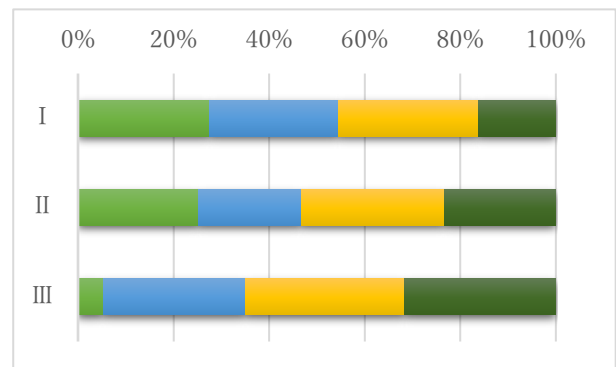
【保護者】子どもは外遊び・スポーツなどで、体を動かしている。



【児童・生徒】朝読書以外で 1 カ月にどれぐらい本を読んでいますか。



【保護者】子どもは家庭でどれぐらい本を読んでいますか。



## 成果

### ◇『授業中、先生や友達の話しをよく聞いている。』に対する回答

Ⅰ学期末に実施したアンケートの結果においても実現度の高い項目ではあったが、今回のアンケートの結果では、【Ⅲrd 生徒】の「できている」の割合が、さらに13%もアップしている。受験を意識し始めた2学期以降、授業にも集中して取り組めている様子が見えてくる。

一方で、【Ⅱnd 児童・生徒】の「できている」が、前回に比べて10%下がっているのは残念な結果である。9年間の義務教育の中間にあたるⅡnd ステージにおいて、なかだるみ的な雰囲気が学習にも影響を与えている可能性がある。

### ◇『人のいやがることをしたり、悪口を言ったりしていない。』に対する回答

【Ⅲrd 生徒】の結果は、前回の結果に比べて「どちらかといえば、できていない」が8%減少し、「できている」が7%増加している。9年間を通して、人間性の育成、人権意識の醸成を目指して取り組んできた本校の教育活動の成果が現れてきたものと考えている。

### ◇『自分から進んであいさつをしている。』に対する回答

【Ⅰst 児童】の「できている」が10%増加している。Ⅲrd 生徒が進んで挨拶している姿を手本として見習い、Ⅰst 児童も挨拶できるようになってきたものと思われる。

### ◇『できるだけ好き嫌いせず、感謝して給食を食べている。』に対する回答

【Ⅰst・Ⅲrd 児童・生徒】の「できている」の割合が、ともに8%上昇している。実際に、2学期以降、給食の残菜も減少傾向にある。低学年が給食に慣れてきたことや、給食指導を通して児童・生徒の食に対する意識が高まってきたことなどが要因と考えられる。

### ◇『朝読書以外で1カ月にどれくらい本を読んでいますか。』に対する回答

【Ⅰst 児童】の「月に4冊以上」の割合が、7%上昇している。2学期以降、1年生でも漢字の学習が始まり、多くの文字を習得したこと、また1年間を通して朝の読書時間を確保してきたことが、読書習慣の定着につながった要因ではないかと考える。

## 課題

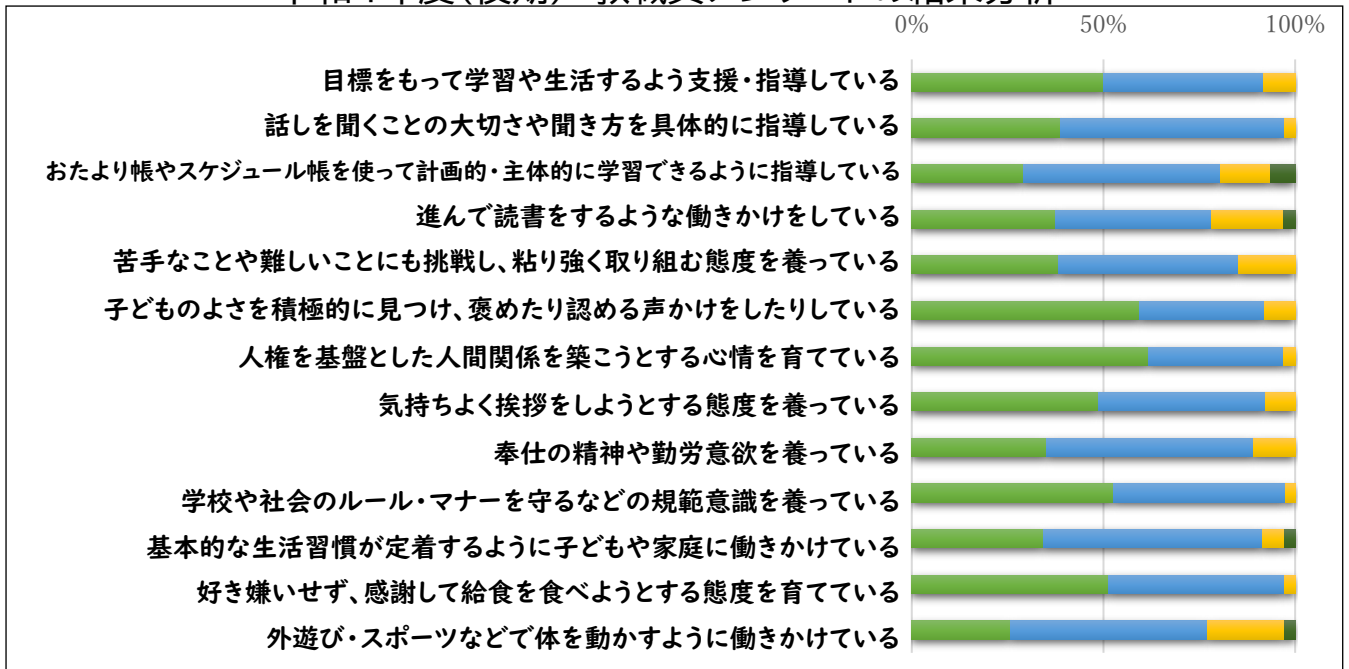
### ◆『早寝・早起き・朝ごはんなど、規則正しく生活している。』に対する回答

【Ⅰst・Ⅱnd 児童・生徒】の「できている」の割合が、ともに6%の減少となった。学校生活に慣れてきたことや、寒い季節となり、早起きができなくなってきたことなどが、生活習慣にも影響を与えているのではないかと考えられる。今後とも、家庭と連携して、規則正しい生活習慣が身に付くよう指導を続けていきたい。

### ◆『外遊び・スポーツなどで、体をよく動かしている。』に対する回答

【Ⅲrd 生徒】の「できている」が17%も減少している。一番の要因は、多くの9年生がⅠ学期で部活動を終えたことにあると思われる。

## 令和4年度(後期) 教職員アンケートの結果分析



教職員アンケートの結果は、前期から大きな違いは見られず、前期に引き続き、教職員が同じ意識で子どもたちへの指導を実践できていることがわかる。

特に、「人権を基盤とした人間関係を築こうとする心情を育てている」「好き嫌いせず、感謝して給食を食べようとする態度を育てている」など、「している・どちらかといえばしている」と回答している割合の高い項目については、児童・生徒の実現度もアップしており、指導の成果の現れと捉えている。

今後も、児童・生徒アンケートにおいて実現度の低かった項目については、全教職員で共通理解を図り、引き続き重点的に指導するようにしていきたい。

保護者自由記述欄にお寄せいただきましたご意見より（表現の一部を修正・省略しています。ご容赦ください。）

(Ⅰ) 授業だけでなく、給食の調理師さんに感謝する機会やお手紙から、相手を思いやる気持ちを学んでいると感じています。

(Ⅱ) ぼくの学校は最高の学校だ。と、いつも言っています。ありがとうございます。

(Ⅱ) 6年生から7年生になるタイミングは、家庭学習方法や学校での取り組み方が大きく変わって来ると思いますので、詳しくご説明や子供達がよりよく成長するためのご案内などがあると安心します。

(Ⅰ) 毎日の宿題が多すぎるように感じます。平日は毎日2時間ほどを宿題に費やしています。宿題に意味がないと考えている訳ではなく、やれば学習習慣や学力がつくのは理解しています。ただ、子供の生活は学校のことだけで成り立っているわけではなく、家では好きなことをする・家族とゆっくり気ままに過ごす・お手伝いをする・十分な睡眠をとるなどは、貴重な子供時代において勉強と同等かそれ以上に重要です。宿題のボリュームのせいでそれらの時間が満足にとれていないことを懸念しております。

(Ⅲ) 受験が全てになると、学ぶ楽しさがわかるのだろうかと思ってしまうのですが、学校は楽しいようで、友達や先生方は魅力的な素晴らしい方ばかりだと、ありがたい気持ちでいっぱいです。

学校運営協議会理事の皆様にお寄せいただきましたご意見より（表現の一部を修正・省略しています。）

前期課程の子どもたちが後期課程の姿を見て、自分から進んで挨拶できるようになっているのは、小中一貫校の理想的な姿だと感じる。

メディアセンターの本の貸出では、子どもたちの「読みたい」を大切にしていってほしい。少し背伸びした本であっても、読めない字を自分で調べながら読み進めることも勉強になる。

学校の情報が子どもからでは入りにくい。保護者と子どものコミュニケーション不足もあると思うが、学校の取組や取組の目的などをもっと発信していただけるとありがたい。

問題行動の低年齢化を懸念している。学校と警察（スクールサポーター）が密に連携をとり、情報交換を進めていきたい。

※そのほか、児童生徒への接し方、コロナ禍における教育活動、学校行事や部活動等について、多数のご意見や感謝のお言葉を頂戴いたしました。いただきましたお声を糧に、東山開晴館が子どもたちにとってよりよい学校となるよう、教職員一丸となって努力してまいりたいと思います。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。